令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	7	事業No.	34		
事務事業名	IIDAブランド推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	ＩＩＤＡブランド推進課	開始	H29	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	国内外の人
	意図	「IIDA」を知り、関心を持ち、「IIDA」に行きたくなる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	これまで「飯田･IIDA」(以下「IIDA」という。)を国内外の方に知ってもらうため、発信力のある外部人材とのﾈｯﾄﾜｰｸを広げつつ、新たなﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝﾂｰﾙの作成や国際会議のAVIAMA総会を通じて様々な情報の発信等を展開してきました。今後はこれらの実績を活かし、地球規模で開催される東京ｵﾘ･ﾊﾟﾗを好機として「IIDA」の認知度をさらに高め関心を持ってもらえるように、国内外へ向け多様な主体との連携によるﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ、ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝを展開する必要があります。

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	(1)前年度評価を踏まえた以下２つの取組を、東京ｵﾘ･ﾊﾟﾗ開催中に国立競技場間近の津田塾大学や都心部で展開します。 ①「IIDA」のﾕﾆｰｸなﾓﾉ･ｺﾄが体感できるﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝを、多様な主体と連携して行います。 ②東京ｵﾘ･ﾊﾟﾗを起点に、飯田をはじめ地方の課題に向き合う若者の思いを日本の未来へつなぐｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑを、学輪IIDAﾈｯﾄﾜｰｸの活用と津田塾大学会場の好立地･利点を活かして開催し、国内外のﾒﾃﾞｨｱを通じて発信します。 (2)(1)の取組を踏まえ、市民等による「IIDA」のﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞの体制をつくり、ﾘﾆｱ時代へ向けた展開につなげます。 (3)WEBの活用や首都圏企業等と連携して「IIDA」の発信と魅力ｱｯﾌﾟを図ります。	IIDAブランド2020プロジェクト	19,300
		IIDAブランド情報・映像発信事業	1,192
		首都圏企業・メディア等共創事業	3,000
		その他の経費	2,674

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	「IIDA」プロモーション体感者	人							2,000	
	シンポジウム参加者	人							200	
	「visitiida.com」サイトユーザー	人／年				627			1,000	

2年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	26,166	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	26,166	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	16	1	26,166 0	IIDAブランド推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								